

日本信頼性学会誌「信頼性」 論文投稿のお誘い

シンポジウムで発表された研究成果を、学術論文 として学会誌に掲載しませんか？

日本信頼性学会は信頼性を専門とした学会活動を行う国内唯一の、国際的にも数少ない研究者・技術者のための団体です。

日本信頼性学会は、信頼性全般に関する理論ならびに応用の進歩発展をはかり、もって学術、産業の発展に寄与するために、会員の独創的な研究成果を公表することを目的として、学会誌「信頼性」に論文を掲載しています。

募集している論文の投稿区分には、原著論文、ショートノート、ケーススタディの3つの区分が設けられています。いずれもレフ

リー(審査員)による審査が行われ(原著論文は2名以上、ショートノートとケーススタディは1名以上)、論文審査委員会により採否が決定されます。採択された論文は学会誌「信頼性」に掲載され、国立国会図書館を始めとしたアーカイブに収められます。

レフリー付きの論文を投稿する最大のメリットは、御自身の仕事、が、真摯な批判と議論を経て「学術論文」として認められたことが、採択により証明されることです。

特に原著論文は、博士号取得の際に必要となる、「学術雑誌掲

載論文数編」という条件の対象となります。グローバルがより進んでいる現在のビジネス社会においては、博士号を持っていることは国際的な信用となり、ビジネスのスピードに格段な差が生じる場合が少なくありません。

大学や研究機関に所属している研究者はもちろん、企業で活躍している方々の新しい発想、発見、創意工夫について、積極的な投稿をお待ちしております。

日本信頼性学会
論文審査委員会
委員長 田村 信幸
副委員長 横川 慎二

投稿手続きに関する詳細

日本信頼性学会HP: <http://www.reaj.jp>
「論文投稿のご案内」より、投稿規定、執筆要領、原稿の書き方等を御覧ください。

お問い合わせ先

日本信頼性学会 論文審査委員会
〒166-0003東京都杉並区高円寺南 1-2-1
一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル内
TEL: 03-5378-9853 FAX: 03-5378-9844
E-mail: reaj@juse.or.jp

「論文の区分と定義」

原著論文

1. 理論上もしくは応用上の独創的な内容を含み、実際の部品、機器、システム等の信頼性向上に寄与する論文。
2. 実験、実施、調査など実証的方法により得られた新しい事実、知見などを含む事例論文。
3. 現場で役立つ手法や新しい技術、現場における改善・改良や創意工夫を記述した技術論文。
4. 信頼性の各種分野で多くの従来研究をサーベイし、最先端の研究も含み、総合的に学問体系を論述し、その分野の展望を与える総合報告論文。
5. 従来法等に関する新しい見方、体系化、新しい知見、応用方法の提案を行う応用論文。

ショートノート

会員への速報または資料として役立つことを目的とした研究速報。

ケーススタディ

会員への実践資料として役立つ事を目的とした事例報告(註:新規性・普遍性よりも有用性に重きを置く)。



日本信頼性学会 学会誌「信頼性」 論文の投稿要領の概略

投稿資格

著者のうち、少なくとも1名は、日本信頼性学会の名誉会員、正会員または学生会員である必要があります。入会の方法は、日本信頼性学会HPの「入会のご案内」を御覧ください。

二重投稿の禁止

他の学術刊行物(書籍・雑誌)に同一内容で発表されたもの、投稿中のものは掲載できません。ただし、シンポジウム等の要旨集に掲載された研究をまとめなおして投稿することは、二重投稿とはみなされません。

審査期間

論文の審査期間は 2ヶ月を目標として行われます。論文審査

委員会は論文の採否が決定次第、速やかに著者に結果を連絡します。その際、レフリーの意見にしたがって改訂をお願いする場合があります。改訂期限は3ヶ月で、再提出された論文は改めて審査を受けることになります。

論文掲載と別刷

論文が採択された際には、著者の方々には、別刷を最低 50部購入いただきます(1論文あたり)。料金はHPの「論文別刷り価格表」を御確認ください。例えば、表紙なし6頁の論文50部で36,600円となります(2012年9月現在)。

その他の詳細は、前頁掲載の日本信頼性学会HPにてご確認ください。